

PRESS RELEASE

パートナーズサロン

「場所の記憶」—報道と建築—

2021年の記憶として挙げられるのは「東京オリンピック」になるのでしょうか。開催中止ではなく、コロナウィルスとの共存を選択し、新型コロナウイルス感染症対策という、無観客でのオリンピック開催となりました。浮かび上がってきたのは「無観客」という選択が、強化する商業主義への警鐘となりえたのか、ということのように思います。

今回、神戸新聞社の元報道カメラマン・金居光由氏、宝塚市生まれ、宝塚市在住の建築家・宮本佳明氏のお二人をお招きしました。お二人は1995年の阪神・淡路大震災で被災しながら、さまざまな選択を迫られて、ご自身の専門分野で、遭遇した「震災の記憶」を残し伝えておられます。

震災から27年、少しずつですが「震災の記憶」が風化しているように思われます。お二人の活動をご紹介しますことで、我々が宝塚の「場所の記憶」をどのようにして、伝えていくべきかを考える機会を持ちたいと思いました。このことが災害やウィルスと対峙する際の生きる力となるのではないかと考えます。



宝塚市湯本町「ゼンカイハウス」内部

【詳細】

名 称：「場所の記憶」—報道と建築—
会 期：2022 年 1 月 23（日）
時 間：14：00—16：00
会 場：宝塚市立文化芸術センター メインギャラリー
参加方法：事前申込制／2021 年度パートナーカード要提示
定 員：80 名
登 壇 者：金居光由氏（神戸新聞社 シニアアドバイザー）
宮本佳明氏（早稲田大学教授・建築家）



金居光由（かないみつよし）氏



宮本佳明（みやもとかつひろ）氏

申込方法：メール info@takarazuka-arts-center.jp
または、電話 0797-62-6800（水曜日を除く 10 時から 18 時）
パートナーカード裏にある番号をご準備ください。
※12 月 1 日より受付開始、定員になり次第締切。

【関連事業】

名 称：写真展示：「震災の記憶」
資料展示：宝塚の記憶「ゼンカイハウス」
会 期：2022 年 1 月 13 日（木）～1 月 23 日（日）※水曜定休日
開館時間：10：00—18：00
場 所：宝塚市立文化芸術センター キューブホール
観 覧 料：無料